

「心豊かで活かに満ちた生徒の育成」

佐世保市立日野中学校
佐世保市日野町2079番地
校長 池田 美祐紀
生徒数 358名 学級数 12



1 校訓



『すべての人を愛する』
『自分から先に愛する』
『相手を自分のように愛する』
『相手と自分を一つに』

- (1) 思いやりの心を大切に、生き抜く力のある生徒の育成
- (2) 自ら目標を持ち、進んで学び、自ら考え、正しい判断ができる生徒の育成
- (3) 心身ともに健やかな生徒の育成
- (4) 人間の尊厳を重んじ、人権を考える生徒の育成
- (5) 勤労を貴び、郷土を愛する生徒の育成

2 目的

- (1) 学校生活で身についた力を、家庭や地域で生かすことができ、生徒自身が体験活動をしてよかった思える活動を目指す。
- (2) 親や教師に頼ることなく、自ら考え、活動を工夫し、意欲を持って学ぼうとする「生きる力」を育てるとともに、広い意味での知的関心を高め、責任をもって行動する生徒を育てる。
- (3) 心豊かで、人間性あふれる生徒を育てる。



3 実践内容

(1) 部活動と行事や体験活動等の充実

○部活動の活躍 県中総体出場：団体4（優勝1、準優勝2、3位1）

個人4名

九州大会出場：団体1

○第1学年：野外活動（7月 飯盒炊さん 青少年の天地）

第2学年：職業講話（9月～10月 11回 講師13名）

第3学年：修学旅行（ハウステンボス・平戸・生月）



(2) 学力向上をめざした家庭学習等の充実

○家庭学習の習慣化・・・web教材（東京書籍）を活用した教材により、国語・数学・英語・理科・社会の5教科について全職員による放課後学習や家庭学習の課題配布及び配信

(3) 「心を見つめる教育週間」「メディア講習会」等各種講話の実施と心の教育

○「朝のあいさつ運動」・・・本年度の重点目標「あいさつ日本一」

○スマホ・ケータイ安全教室（1・2年生、教職員、保護者）

○性教育講演会（3年生、教職員、保護者）

○薬物乱用防止教室（3年生、教職員、保護者）

○人権集会における講演会（全校生徒、全職員）＊動画配信

○メディア講習会（1，2年生徒、教職員、保護者）＊YouTube動画配信

○清掃活動の徹底（教職員の率先垂範）・・・一校一徳運動「み・そ・あ・じ」の「そ」



4 成果

- (1) 部活動や行事への積極的な参加と各種講演会の開催による社会性の醸成によって、生徒の自己肯定感が高まった。学校評価（生徒の平均）において「好ましい友人関係があり、楽しく登校している」は3.5「社会のルールや学校のルールを守る」では3.6と高い評価を得た。
- (2) 学力向上を目指した家庭学習の実施では、web教材（東京書籍）を活用した教材により、国語・数学・英語・理科・社会の5教科について全職員による放課後学習や家庭学習の課題配布及び配信することにより、家庭などで主体的に学習に取り組める手立てとなった。
- (3) 「人権集会」「メディア講習会」「性教育講演会」の講話等より、生徒たちに「人権意識」を高めることにつながった。人権教育に対する意識の向上が見られ、学校評価では生徒の平均が3.3、教員の平均が3.8と高くなっている。
- (4) コロナ禍での学校行事について YouTube 等を活用した動画配信等により家庭や地域との連携を取ることができた。



5 今後の課題

- (1) 生徒数減少に伴い、部活動（運動部）のチーム編制が難しくなり、教職員の定数減少のため、顧問数が不足してくる。部活動の数を精選し、活動に支障がないように外部コーチの数を増やす等の対策を急ぐ必要がある。
- (2) コロナ禍での「講演会」、オンラインや動画配信などで調整・開催するなど、学年に応じた適切な設定を地域ぐるみで行いたい。
- (3) 学校・家庭・地域が互いに連携・協働して教育に取り組む学校づくりを目指し、コミュニティ・スクール設置の方向性を検討しながら、家庭・地域の実情を踏まえた特色ある学校づくりを進めたい。